

ベトナムモニター参加者の皆さんへのアンケート

## Uさん男性（大学生）（3月1日～7日）

### ● ベトナムという国、ホーチミンという都市に関して感じたこと

\*とにかく人間のエネルギーが渦巻いた、躍動するような都市、成長期にあってこれから急激に発展してゆくであろう国、という印象です。バイクがとてつもなくたくさん走っていて、建設途中のビルが至る所にあり、空港を出た瞬間から圧倒されました。経験していませんが日本の高度成長はこんな感じだったのかなと、ホーチミン市と、そこに住む人たちに触れ思いました。

それと、日本で暮らしていることで眠っていたような感覚（色んな感情の高ぶりとか、嗅覚、味覚、その他様々な感覚）が呼び起こされるような都市でした。エネルギッシュな、失うものの無い青年のような街、という感じです。ただ、主にバイクなどの排気ガスはものすごく（バイクに乗る人は皆、鼻と口を覆うマスクを着けていて、色んなデザインがありオシャレです。）、道路は粉塵が舞い、ゴミは至る所に捨てられているし、ネズミもよく走っていました。

### ● この国の人々（友人になったひとではなく、一般の人たち）に関して感じたこと

\*（自分も含め）半分眠っているかのような日本人と眼が違うな、という印象です。「動物としての人間」の本能が残っているような、ギラギラした目つきでした。

フレンドリーで、商売目的でなくとも、全体的に（特に若い人は）外国人・日本人に対して興味を持って接してくれます。若くてある程度教育を受けた人は、英語を日本人よりずっとうまく使いこなせている気がします（自分は喋れません）。

商売に関しては強かです。ベンタイン市場では値段交渉必須です。また、タクシーはおつりなどこちらがしっかりチェックしていないとぼったくられます。途中でおつりを要求するのも疲れてしまって、チップ代だと思ふことにしました。

### ● 空港で無事に会えましたか？混雑していましたか？ どのようにしてあったか、出迎えの人はわかりやすかったですか？CEC のロゴのサインを持っていましたか？ 皆さんの名前のカードはもっていましたか？

\*会えました。混雑はしていましたが、空港の出口には出迎え・見送り口みたいのが一本あり、そこに人がプラカードを持ちながら集まっていて、出てくる人を皆チェックしていました。CEC と自分の名前のプラカードを持った人がいたので、すぐ分かりました。

### ● 活動内容に関して

## 1 孤児院の様子（子供たちの人数、活動した時間、活動した内容、どう感じたか） 数枚の写真を添付ください。

\*初めて行ったのは3月3日の9時半ごろです。それから4日、5日の午前中（9時過ぎ～12時）赴きました。「わかば」の生徒さんにバイクで送迎してもらいました（帰りの日に一日当たりの送迎費用3万ドン×日数をお支払いしました）。少し入り組んだ場所にあり、地図上の場所が把握できなかったのですが、「わかば」からは空港方面にバイクで20分程の場所でした。孤児院といっても、おそらく仏教系のお寺の中に、孤児院、小学校、薬局？みたいな施設が併設されていました。

最初は正直驚きました。孤児院といっても、耳が聞こえない、喋れない、寝たきりで立てないなど、一般に障害児といわれる子が多かったです。経済成長著しいとはいっても、理由は分からないにせよこうゆう子供をお寺に預けてしまう人が少なくないのも、ベトナムの現実なのだな、と思いました。

自分は大体小学生くらいの障害児の子供たちの遊び相手や、食事の手伝いを主にしていました。子供たちはとても元気で、遊ぶのは大変ですがとても楽しかったです。初めは上手く食事など手伝えなかったのが、最後の日は残さず全部食べてもらえるようになったのも嬉しかったです。

ボランティアは他の団体（“CIEE”とのこと。英語圏からの人が多く、日本人もいました。）からも10人程来ていて、賑やかで多国籍な感じでした。

ただ、そこで働いている方々にとって、言葉も通じない先進国の若者が興味本位で短期間だけ来る、というのは実際にはどうなのだろう、とも少し思いました。後から聞いて分かりましたが、施設で働いていた方々は実際には働いている訳ではなく、ボランティアでお金は頂いていないそうです（真偽の程は分かりませんが）。いずれにせよかなり大変かと思えます。

最終日に施設に寄付をしたい旨を一緒に来ていた「わかば」の人に伝えたところ、お金そのものよりも、それ相当の品物の方が良いと言われ、50万ドン相当（2500円くらい）の品物を近くで買って寄付しました。他にも同じような品物の寄付が積んであって、施設の運営はこれらによるところが大きいようです。寄付をするとお寺の偉い方（住職？）から、寄付をしたという証明書のようなものを頂けます。（写真添付）

（参考）寄付をした50万ドン相当の品物

- ・ コメ・・・20kg
- ・ しょうゆ・・・5本

- ・油・・・2本
- ・パックミルク・・・4本×8

今後、孤児院でボランティアされるかたへのアドバイス、どんなものを持っていったらよいか、適切と思われる服装など・・・なんでもご自由にお書きください。

\*まずは汚れてもいいラフな格好で行った方が良いです。床もきれいではないので、靴下など汚したくないならサンダルなど、裸足になれる格好で行った方が良いと思います。

子供たちは時計や眼鏡などに関心を示し触ってくるので、もし大事な物なら持っていない方が良いでしょう。同じく CEC モニターとして孤児院に行った白井さんは、折り紙で鶴を折ったら子供にすごく喜ばれたということだったので、そういうものも用意できたら楽しいかと思います。

## 2 わかばの様子（同じく、活動した時間、対象となる学生さんの様子、どんなひとたちなのか、どんな内容の活動になったか。どう感じたか）

\*2日に授業を見学して、アシスタントとして活動した時間は3,4,5日の18～19時半 or 19時半～21時です。内容として大体上級か中級の授業かと思います。

生徒さんは大体大学生か、日系・外資系の会社で働いている若い社員の方が多かったです。仕事で使いたい、また、楽しいから、日本・日本語が好きだから、という嬉しい理由が挙げられていました。アシスタントの内容は先生によって違いますが、日本語の発音や、先生でもわからない日本語のニュアンスの違いなどを聞かれるパターンと、日本の唄を唄ってみたり、その單元におけるテーマの文法を使った会話を生徒さんと繰り返し行う、というパターンがありました。

授業は本当に興味深くて楽しく、できるだけ長い時間やっていたかったのですが、自分でも答えの分からない質問をされることもあり、日本人として情けなくなり、もっと勉強しようと思いました。例えば、「～と会う」と「～に会う」はどう違うのか、「知らんぷり」の文法的解釈、「付き合う」という言葉の使い方、「しょうがない」と「どうしようもない」はどう違うのか、など。また、日本の文化に関して、古い唄「さくら」や、「幸せなら手を叩こう」なども完全に唄えなかったため、その点も情けなかったです。

自分の「ありがとう」に対して、「全然いいよ」と返されたのには笑ってしまいました。

## 今後活動されるかたへのアドバイス、どのような準備をしていったらよいか

\*自然体で行った方がよいかと思います。最初は何か「日本らしいもの」を持ってきたり、

披露できた方が良かったかな、とも思いましたが、そういうものがない以上しょうがないのではないかと、思うようになりました。普段いわゆる「日本」的な文物とは接していないにも関わらず、ベトナムの方々の前で急にそれを披露しだすような事は何か違うかな、とも思います。

ただ、日本の普段の生活、日常を伝えられるような資料や写真などあれば良かったかな、とも思いました。それと日本のポップカルチャー（音楽・マンガ等）はベトナムにおいてもなかなか人気があるらしく、それらが共通の話題になることもあったので、チェックしておいて損はないかと思えます。「V6」や「X-JAPAN」、「宇多田ヒカル」、マンガでは「ドラえもん」、「名探偵コナン」などを好きな人がいました。

3 今回2つの派遣先を同時体験していただきましたが、今後も続けたほうが良いとおもいますか？それとも孤児院、わかばと切り離してどちらか片一方にしたほうが良いとおもいますか？その理由もお聞かせください。

\*続けた方が良いかと思えます。孤児院だけ、「わかば」だけというのも問題はないと思いますが、個人的にはできるだけ現地の方々たくさん触れ合いたかったので、2つ行けてとても良かったです。片一方だと今回の内容であるのならかなり時間が空くかと思えます。

#### ● ボランティア以外の活動

どのようなことを行ったか教えてください。また、どれくらいのお金がかかるものか。その辺もお知らせください。（たとえばフェマまで旅行した・・・など）

\*6日（土）が off の日だったので、CEC で一緒に参加していた Nさんと旅行会社のメコン川クルーズに参加しました。

内容はバスでメコン川まで行って小舟に乗ったり、メコン川の大きな魚を食べたり、地元の民謡みたいなものを鑑賞したり、です。日本語ツアーでしたので参加者も日本人ばかりです。探せばもっと安いツアーもあるかと思えます。参加者の方はみんな気のいい人ばかりで最初から打ち解けて一緒に楽しめました。

大体空いている時間はベントイン市場あたりの中心部を散策して、写真を撮ったり色々なお店を覗いたり路地裏に入ってみたり、ホテルの周りを歩き回ったりしていました。それだけでもかなり楽しめました。夜、「わかば」の生徒さんが運転するバイクの後部座席に乗って、市内をドライブしたりもしました。昼間の市内とはまた別の魅力があって、風もとても気持ちよく本当に楽しかったです。

3日に市内を散策している時に、バイクに乗った日本語を話せるおじさんが話し掛けてきて、日本人からもらったお礼の手紙やメモを（内容からしておそらく本当に日本人が書いた）

ています。) 見せてきて市内を案内すると言うので、付いて行ってみました。その人の支払いでサイゴン川のほとりでベトナムコーヒーを飲んだり、有名な中国系のお寺を見たり、楽しかったのですが、もう帰らなければいけない、と言うと一万円を要求されました。さすがに交渉して15万ドンくらいまで下げてもらいました。(CEC スタッフから：これは危険です！このような申し出は断ってください)

帰りにまた道を歩いていると、別のおじさんが声を掛けてきて、また日本人からもらった手紙などを見せて誘ってきました。そのような手紙を持っているのは最初のおじさんだけかと思っていたので、「こうやって個人ガイドの商売をしているのか」と思って妙に感心しました。

その他ベンタイン市場前の公園で知り合ったフィリピン人の二人組とお酒を飲んだりもしました。(CEC から：知らない人とのこういうことは気をつけてください、騙そうという人がどこの国でもいます)

- ホテルの設備、部屋の広さ、スタッフの対応、周辺の様子などに関してお知らせください。

ヘアドライヤーは貸してくれますか？

テレビはちゃんと映りますか？

\*ヘアドライヤーを借りたり、洗濯を頼んだり個人的にはしなかったです(有料でそのようなサービスはあります)。洗濯はTシャツや下着などは自分で洗って干していました。

テレビもきちんと映りますが、もちろんほとんどベトナム語なのでそんなに見てはいません。部屋の広さは大体7畳くらいで、クローゼット、TV、机、ベッドなどシンプルな配置がされていました。その他ユニットバスというか、トイレとシャワー室が一緒になったようなもの(浴槽はありません)が付いています。仕切られてはいないので、シャワーを浴びる時に注意しないとトイレトペーパーなどを濡らしてしまう可能性があります。慣れてしまえば不便は感じませんでした。(CEC より：トイレトペーパーは備え付けのボックスに捨てる、水で流すと詰まる可能性があります。ホテルで確かめてください)

ホテルの立地場所は観光客が多く滞在するであろう中心地、ドンコイ通り沿いからは遠く、あまり観光客は泊らないエリアであるようです。ただ、ホテル前の大通りの交通はすごいです。バイクがとてつもない数走っていて、「これがベトナムか」と思いました。治安の悪さはそれ程感じませんでした。夜に狭い路地を一人で歩くようなことはなるべく避けた方が良くと思います。

ホテルの受付の人はとてもフレンドリーな方々で、自分、白井さん、野崎さんと一緒にロビーで日本にはないようなフルーツを一緒に食べ談笑したりしていました。英語は大体皆さん喋ることができます。

- 出会ったひとたち(孤児院やわかばで)に関する質問です。感じたことをお気軽に

お書きください。

なにか一緒に活動（観光、そのほか）された場合、どこに行かれたかなど教えてください。

\*孤児院、「わかば」の方々は皆とても明るくフレンドリーで、楽しい方ばかりでした。少なくともベトナムでの人間関係において苦労した、というのは全くありません。もしかしたらホーチミン市だからかもしれませんが、皆さん携帯を持っていて、パソコンも普通に使っていたので、そこは日本とそれ程変わらないことに少し驚きました。最終日にアン先生のお母様のお宅で、一緒にベトナム料理を作ったのですが、とても広くきれいな豪邸でした。日本においてもかなり値段がはるであろう大型の液晶テレビなども置いてあって、自分の中の一面的なベトナムのイメージが覆りました。

2日に「わかば」の生徒さんではありませんが、違う日本語学校の生徒さん（アン先生の紹介）と市内中心部を回りました。「戦争証跡博物館」も見学しました。博物館前には本物かレプリカなのかは分からなかったのですが、原寸大の戦車や戦闘機が展示されてあります。内部はベトナム戦争時の被害の様子の写真を中心とした展示でした。

● 今回、現地での出費に関してお聞きします。朝、昼、晩、それぞれ、どんなものを食べ、いくらぐらいの出費となりましたか？

\*朝、昼は主にホテルの近くのレストランやカフェで生春巻やフォー、スープなどを食べたりしていました。大体5万ドン強（250円程度）くらいで食べられたかと思います。

夜は毎日「わかば」の生徒さんに案内してもらって色んなベトナム料理を食べに行きました。生春巻きや、名前は分かりませんがフエの料理、プレートにご飯や肉など色んなものが載せられた料理、バイン・セオ（ベトナム風お好み焼きのようなもの）、ヤギ鍋（卵が出てきて、勧められて割ったら生まれる直前のひなの状態で出てきて、かなりびっくりしました。結局食べずじまいです・・・）など、ベトナム料理として有名なものからちょっと変わったものまで色々と連れて行ってもらいました。

大体夜の出費は一人10万ドンくらいであったかと思います。お会計の時に払おうとすると、「わかば」の人が「全部払うから」と言い出し、「私が」「いや私が」と、かなり日本的な場面もありました。結果、かなりご馳走になってしまったかと思います。

メインディナーの後はカフェに入って濃いベトナムコーヒーを飲みながら談笑したり、アイスクリーム屋さんでデザートを食べたりしていました。こちらは5万～8万弱くらいであったかと思います。

以前グアムに旅行した時、ハンバーガーやステーキばかり食べていて、3日で堪えられなくなって日本食を探して食べたりしていましたが、今回は一切そうゆうこともなく、ほとんどのものが美味しく頂けて、飽きませんでした。日本人の口に合う料理が多いかと思えます。

そのほか、今回のベトナムの滞在で、是非、知らせておきたいことがもしあれば、是非お願いします。

\*最終日は本当に帰りたくなかったです。条件が許せばこのまま残ってこの地で働いてもいいかな、とも思えました。

そこに住む人たちも含め、ベトナム、ホーチミン市はとても「美しい」街だと思います。滞在を終え東京に戻った時、人が多くざわついてはいましたが、なんて静かで寂しい街なんだろうとも感じました。

東京は確かに「きれい」ですが「美しい」街ではないと思います。ホーチミンとは違いゴミもそれほど落ちていなく、そのほとんどが整然としているにも関わらず、ホーチミンで感じたような、人間の内側から出てくるような躍動やエネルギーは感じず、どこか表面的、からっぽな、人工的なものを感じるようになりました。

住む人間についても同じで、帰ってきて電車の中に乗ってまわりの人を見ても、どこか目が虚ろで、ぼーっとした寂しそうな人が多い気がします。そして外から見れば自分もそのような人の一人なのかなとも思いました。

もうすでに成長がピークに達したような国と、これから発展してゆく国の違いなのかとも思いますが、ベトナムは、日本や、また自分自身が忘れてしまっている大切なものがあるなと感じました。

卒業し、これから社会に出ることになりますが、将来的にベトナムで勤務したいという目標もひとつできました。

ベトナムモニターという機会を提供して下さったことにとっても感謝しています。宝物のような経験でした。ありがとうございました。

ベトナムモニター参加者の皆さんへのアンケート

Nさん 大学生

#### ● ベトナムという国、ホーチミンという都市に関して感じたこと

- ・バイクが多い・・・人口 400 万人に対し、200 万台のバイクが走っているそうです。よって排気ガスがすごい。
- ・なんでも安い・・・ものによりけりですが、例えばスーパーだと 500ml の水が 15 円くらいから、パン 1 斤が 30 円くらいから。博物館入場料は 100 円前後。バスは 1 回 15 円位なので移動するのにたいへん重宝します。
- ・観光客が多い・・・中心部にはたくさんの日本人や欧米人がいます。このあたりではほ

とんどの店に英語のメニューがあるので便利です。

- ・ フルーツがおいしい・・・見たこともないフルーツがたくさんあり、どれもおいしかったです。
- ・ 喫茶店が多い・・・夜でも bar ではなくて遅い時間までやっている喫茶店が多くあり、ベトナムコーヒーが飲めます。
- ・ 市場がたくさん・・・大きな市場がたくさんあります。なんでも安く手に入りますが、観光地を除いて英語はほとんど使えません。

● この国の人々（友人になったひとではなく、一般の人たち）に関して感じたこと

- ・ 日本人と同じ位のレベルで英語が伝わります。上手い人もいれば全くな人もいます。
- ・ かえる、ねずみ、へび、どじょう、犬などなんでも食べます。
- ・ 移動はほとんどバイクです。バスに乗ると学生が目立ちます。

● 空港で無事に会えましたか？混雑していましたか？ どのようにしてあったか、出迎えの人はわかりやすかったですか？CEC のロゴのサインを持っていましたか？ 皆さんの名前のカードはもっていましたか？

- ・ すぐに会えました。私の名前とロゴの紙を持ってわかりやすい所で待っていてくれました。

● 活動内容に関して

1 孤児院の様子（子供たちの人数、活動した時間、活動した内容、どう感じたか）  
数枚の写真を添付ください。

今後、孤児院でボランティアされるかたへのアドバイス、どんなものを持っていったらよいか、適切と思われる服装など・・・なんでもご自由にお書きください。

他の国々の孤児院にも訪れたことがありますが、ここの孤児院はハンディキャップを持った子がほとんどでした。理由は、枯葉剤被害者の子で、薬がとても高いので生まれた時に捨てられてしまうケースが多いそうです。子供は全部で 140 人くらいいるそうですが、寝たきりの子や動けない子もたくさんいるため、比較的元気な子が集まって一緒に遊んでいました。まだ小さくわんぱくですが素直な子ばかりなので、社会にでる手助けも兼ねて、ときにはこちらから根気よく声をかける必要があります。

服装はもちろん動きやすい服で。活動時間は決められていないので自由に過ごせます。

2 わかばの様子（同じく、活動した時間、対象となる学生さんの様子、どんなひとたちなのか、どんな内容の活動になったか。どう感じたか）

みなさんととてもいい人たちばかりでした。授業中はテキストに沿って問題を解き、間違いを正してあげたり、表現の使い方を教えてあげたりといった感じでした。生徒さんは純粋に日本が好き、または日本に行く予定があるといった人達ばかりでとても熱心でした。学生や若い人達の割合が多く、授業後にみんなでご飯に連れて行ってくれたりととても楽しかったです。持って行くと良いものは、日本に関する知識や写真です。

3 今回2つの派遣先を同時体験していただきましたが、今後も続けたほうが良いとおもいますか？それとも孤児院、わかばと切り離してどちらか片一方にしたほうが良いとおもいますか？その理由もお聞かせください。

せっかくなのでどちらも体験した方がよいと思います。わかばは、現地の人と仲良くなる絶好の場でよりベトナムらしい事を見て、聞いてと言う事ができます。ただ、わかばは朝と夕方に授業があり、昼間は閉まります。この間に観光に行くのもいいですが、孤児院へは1度でいいから行ってほしいものです。きっと誰しものが考えさせられる場です。それに孤児院があるお寺そのものが観光地みたいで、そちらも楽しめると思います。

● ボランティア以外の活動

どのようなことを行ったか教えてください。また、どれくらいのお金がかかるものか。その辺もお知らせください。（たとえばフェマまで旅行した・・・など）

- ・ メコン川くんだり・・・日本語ツアーで\$25でした。バスで2時間弱の所で日帰りです。メコン川をくんだりながら、さまざまなアトラクションが用意されており、とても楽しかったです。
- ・ 3泊2日ニャチャンダイビング・・・寝台バス、早朝チェックイン夕方チェックアウトの1泊2日ホテル代金、朝食、昼食、送迎、4ダイブ、ダイビング機材すべて込みで\$180でした。フランス人経営のダイブショップで、2日で4ダイブ、ダイビング後はみんなでご飯を食べてランチ、夜はみんなでご飯を食べに行きます。ニャチャンのビーチはとてもきれいなホワイトビーチで、ホテルもとてもきれいで大満足でした。英語が話せない方だと厳しいかもしれませんが、とてもいいプランだと思います。

● ホテルの設備、部屋の広さ、スタッフの対応、周辺の様子などについてお知らせください。

- ・ 部屋にはテレビ、冷蔵庫、歯ブラシ、コップ、鏡台、シャワー、トイレがあります。可

もなく不可もなくとって感じ。Wifi 使えます。

- スタッフさんはとても友好的でいい人ばかりでしたが、レセプションの人でも若干英語が下手なのが難。お金に関すること等はわかばの人に通訳してもらったり、ホテルのスタッフで英語堪能、日本語・フランス語が少し話せる人がいるので大切な事はすべてその人に伝えていました。
- 立地はとても便利なところにあります。わかばまで徒歩5分。ほかにも徒歩5分圏内にたくさんレストランやカフェ、市場、バス停、ジム、ヨガスタジオまであります。ホーチミン中心部まではタクシーで30分弱、片道300円前後です。安いバスがとても重宝しました。

- 今回、現地での出費に関してお聞きします。朝、昼、晩、それぞれ、どんなものを食べ、いくらぐらいの出費となりましたか？

朝・昼は例えばローカルなカフェだとコーヒーとフォーで200円くらい。

夜は毎日わかばの人が連れて行ってくれてベトナム料理ばかりでした。だいたい300~500円くらいです。よって食費は1日1000円あれば十分すぎるくらい満足できます。

11日間で使ったのはお土産等すべて含めて2万円でした。

そのほか、今回のベトナムの滞在で、是非、知らせておきたいことがもしあれば、是非お願いします。

海外に行く際に郷に従えとよく言いますが、日本の感覚を忘れない事も大切だと思います。例えば、火の通ってない魚介類は食べないとか、知らない人に声をかけられたらきっぱり首を横に振るだとか。わかばの学生さんやホテルのスタッフさんたちはほんとにいい人で、とても頼れるので、小さなことでも助けてくれると思います。



孤児院のあるお寺です。日本とは全く違う外装でびっくりしました。



町にたくさんマッサージ屋があります。とても安くて気持ちいいです。ここは1時間 120000 ドンでした。



ホテルから徒歩2分くらいのところに大きな市場があります。



ホテル隣のカフェにて。アイスコーヒー14000 ドン。フォー17000 ドン。



メコン川くだり。メコン川沿いの小川は静かでとても癒されます。



仲良くしてくれたわかばのOBの人達。アン先生の家でホームパーティをしました。



町中バイクだらけのホーチミン市。サングラスは手放せません。



ニャチャンのビーチ。ニャチャンはベトナム有数のリゾート地だそうです。